

CityView!



「CityView!」では、市のイベントや地域の話題を、市民の皆さんにお届けします。
 <掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>

東松島市SDGsシンポジウム 住みよいまちづくり目指して



東松島市のSDGsの取組を広く発信しながら、東日本大震災からの創造的復興と地方創生の推進を図る「東松島市SDGsシンポジウム」を今年も開催しました。司会を日本ウェルネス宮城高等学校の生徒が務め、サステナブルコミュニティ共創機構の横山泰治代表理事が「全国でのSDGsの取組状況と東松島市の活動について」と題して講話したほか、環境省水・大気環境局海洋環境課海洋プラスチック汚染対策室の中山直樹室長らが、「地域で進める海洋ごみ対策」などと題して講演を実施。参加者全員は住みよいまちづくりに対しての意識を高めていたようでした。(1月26日、市コミュニティセンター)



▲海洋ごみ対策などの講演

▲SDGsの取組などを展示



牧野復興大臣 野蒜地区を視察

被災者の心のケアに注力する姿勢示す

牧野復興大臣が本市の野蒜地区を訪れ、防災体験施設「キボッチャ」や「令和の果樹の花里づくり構想」の計画地を視察しました。視察の中で、渥美市長から復興の現状や地域が抱える課題について説明を受けた牧野大臣は、東日本大震災で被災した方々の心のケアに引き続き力を入れ、地域と連携しながら取り組んでいく考えを示しました。(2月12日、令和の果樹の花里づくり構想計画地)

東松島の 「特産」強みに



カキノリプロジェクト始動

本市特産の牡蠣と海苔を生かし、新たな魅力のPRを目指す「カキノリプロジェクト」が始動しました。東松島農水泊推進協議会が進める事業で、第1回は地元5飲食店・宿泊施設が両食材を使った新メニューを発表し、牡蠣豆腐と生海苔の土佐酢ジュレや、ラザニアなどのアイデア料理の発表会が行われ、渥美市長らがその味わいを評価していました。(1月15日、奥松島レーンホテル)



▲牡蠣と海苔を使った新メニュー



ほ場整備事業 早期完了を願って

ほ場整備事業 早期完了願い陳情書

令和4年度に事業採択された「ほ場整備事業深谷西地区」の早期進捗を図るために必要な、国史跡赤井官衙遺跡群に関連する文化財の発掘調査の迅速化を求める陳情書が、ほ場整備事業深谷西地区実行委員会から渥美市長に提出されました。今後、宮城県に協力をもらいながら発掘調査の迅速化によりほ場整備事業の早期進捗を図っていきます。(1月14日、市役所)

(株)ウエストエネルギー ソリューションへ

感謝状の贈呈 企業版ふるさと納税



(株)ウエストエネルギーソリューション(広島市)から企業版ふるさと納税をいただきました。御礼の気持ちを込めて感謝状を贈呈しました。(1月27日、市役所)

東松島市民生委員・児童委員退任者感謝状贈呈式



民生委員・児童委員退任者に感謝状

本市の民生委員・児童委員退任者に対する感謝状贈呈式があり、対象者14人中7人が出席。活動期間が6年以上の方には、厚生労働大臣表彰、3年以上の方には宮城県知事表彰が贈られました。渥美市長は尽力に感謝の意を示し、「今後も地域の中からお力添えいただきたい」と述べました。(1月29日、市役所)

長年地域の 安心安全下支え

日本製紙石巻野球教室

小中学生130人 打撃や守備の基本を

毎年恒例の日本製紙石巻硬式野球部野球教室が開かれました。今年は市内野球スポーツと中学校軟式野球部、東松島リトルシニア、女子中学生軟式野球チームの宮城デイズ所属の小中学生計130人が参加。日本製紙石巻からは選手や監督、コーチ計27人が参加し、講師を務めました。小学生は低学年と高学年、中学生は軟式と硬式に分かれて練習。小学生部門では、打撃や守備、走塁の基本から丁寧に教え、一方の中学生部門は守備位置別に細やかに指導を行いました。

(1月17日、鷹来の森運動公園多目的グラウンド)



東松島市長杯 ポッチャプレ大会

ポッチャ通じてスポーツ交流



▲8チームで楽しみながら交流。

県ポッチャ協会主催の東松島市長杯ポッチャプレ大会が大曲地区体育館で行われました。令和8年度開催予定の第1回大会を見据えたプレ大会には、市内から社会福祉協議会、身体障害者福祉協会、東松島市スポーツ協会、社会教育団体1・5会を始めとする様々な分野の8チームが参加し、パラリンピック競技の「ポッチャ」を通じて障害者スポーツや共生社会への理解を深めながらスポーツを楽しみました。

(2月7日)



舞い上がれ自慢の凧

赤井で恒例の凧あげ大会



▲矢本一平の生徒が上げた凧

▲チャンピオン賞に輝いた相澤悠さんの凧

第37回となる恒例のオール赤井凧あげ大会が行われました。小・中学生の部に43人、一般・団体の部には12個人・団体が参加し、持ち寄った凧の絵柄や飛んだ高さを競いました。

(2月1日、赤井市民センター北側の水田)

第78回奉獻乾海苔品評会



手代木千年さんが準優賞

県内で生産される海苔の品質や生産技術の向上を目的とした「第78回奉獻乾海苔品評会」の表彰式が1月11日に塩竈市の志波彦神社・塩竈神社で開かれました。今年の品評会には県内から計90点が出品。このうち県漁協鳴瀬支所の手代木千年さんが出品したノリが準優賞に選ばれました。

「えっへらと笑って 過ごそう」



なまて笑ってコミュニケーション

大塩自治協議会などによるまちづくり講演会「なまて笑ってコミュニケーション」には、お笑いコンビ「まつみ」と、落語家の六華亭遊花さんが出演しました。遊花さんは、「ごしゃいばかりではダメ。えっへらおへらと笑って過ごしましょうね」と語り、古典落語で披露しました。

(2月6日、大塩市民センター)

JAいのまき

母子手帳ケース 300個寄贈



いのまき農業協同組合から本市に母子健康手帳ケース300個の寄贈がありました。子育て世代の皆さんを支援する活動として令和3年度から寄贈をいただいております。今回で5回目となります。松川孝行代表理事組合長が渥美市長に目録を手渡ししながら、「人口減少対策にも役立てていただければ幸いです」と話していました。

(2月12日、市役所)